

～全ての人共創しあう絆溢れる明るいみらいへ～

【はじめに】

(社)加須青年会議所は、1973年に全国で575番目のLOMとしてスタートして以来、時代は変わっても先輩方から引き継がれてきたこの地域を想う気持ちは変わらずにこの加須市を明るく豊かな地域とするべく、英知と勇気と情熱を持って運動を継続してきました。

(社)加須青年会議所が39年間運動を継続できたのも先輩諸兄はもとより、地域の人達・行政関係者の方々のご協力とご指導の賜物だと考えます。地域のみらいのために先輩方が創り上げ残してきたものを感謝の気持ちを込めて継承し、我々は、これからも地域のみらいのために運動していきます。また、(社)加須青年会議所は、公益法人制度の改革に伴い公益社団法人へと移行しますが、改めて、この地域に必要とされるより進化した公益性のある事業を行っていきます。

40年目から50年目への10年間メンバーが目指していく方向性を時代に合わせて明確にし、みらいを創っていく団体として青年らしく元気に本気で運動していく為に、今後10年間の活動指針を策定します。

【研修事業】

メンバー全員が利他の精神で共創しあう加須青年会議所づくり

現在の世の中を見渡すと、地域での人と人との関わりが薄れ、隣近所の人顔すら知らないといった状況でも生活していく事に不便のない社会かもしれません。

しかし、東日本大震災を経験し、災害発生時から現在の復興支援まで、決して見返りを求める事無く、それぞれが出来る行動をするといった、本来、日本人の持つ助け合いの精神のすばらしさを思い出したはずです。

絆溢れる明るいみらいを目指す為に、まずは我々メンバー一人ひとりが優しくあるべきだと考えます。

本当の優しさとはどんなことでしょうか。

優しさとは、本当に相手の事を思いやる厳しさの中にあり、そして厳しさの中にこそ、楽しさと喜びも感じる事が出来ます。本当の優しさを持ったメンバーが、見返りを求めずに行動する事、即ち利他の精神を持って運動や事業を展開する事により、必ずやJ Cの本質である自らを高める事に繋がり、Jaycee(個)として成長できると確信します。

我々は、メンバー全員が利他の精神(思いやり)を持ち、真剣な議論を重ね共に創りあげる事業を通して絆を深め、Jaycee(個)として社会を変革していくリーダーとなる為に自らを高める事業を行っていきます。

[青少年育成事業]

利他の精神と郷土愛を持つ青少年育成

生まれ育った地域を人は故郷と呼びます。故郷では人生の中で根幹となる考え方や想いが自然と育まれます。故郷で育った時間は特別な時間だからこそ、大人になっても消える事のない思い出となり、郷土愛へと繋がります。

現代の子供たちの置かれた環境はどうでしょう。親の世代が地域で関わりが薄れている状況で、そんな人生の中での考えや想いの根幹となるような経験が、出来ているのでしょうか。自分の周りの友達だけが良ければ、関わりのない同世代は関係ないというような子が増えているのではないのでしょうか。

加須市に住むすべての世代の人達が、この加須市を愛し真剣にこの加須市の未来を考える為の第一歩として、今まで(社)加須青年会議所が青少年事業で多く関わってきた小学生はもとより、中学生、高校生、大学生とも関わりながら利他の精神を伝え、周りの様々な世代の人達との関わり大切さを伝える事業を行っていきます。

しかし、青少年育成はJ Cだけでは到底成し遂げることは出来ません。

我々が率先して、学校・親・地域の人達と連携し事業を行っていき、より人生の中での考えや想いの根幹となる経験が出来る機会を創り上げていきます。

[まちづくり事業]

自助と共助の調和しあうまちづくり

地域コミュニティの活性化をし、地域間や市民相互で日常的に助け合うこと(共助)がで

きる成熟した地域にする為にも、まずは、自らの知恵と力で解決できる問題には自ら積極的に対していくという自助の精神の確立が必要です。

それは、自分だけ(自分の身内だけ)が良ければ良いというものではなく、何事も他人任せにするのではない自立した考えに溢れた市民が増えるという事です。そんな市民一人ひとりが自らの知恵と力で解決できない問題を近所の方々と連携し、自治単位で連携し解決する事により、公助に依存しすぎない自助と共助の調和した地域となり、自治単位の問題において協力しあう事の出来る地域が生まれます。

我々が先頭に立ち、市民の皆様や各団体間での連携役となり、市民一人ひとりの手でそれぞれの地域の問題に立ち向かう自助の精神の確立と、自助の精神に溢れた市民同士で共に助け合う共助の精神の確立をしていき自助と共助の調和した絆溢れる加須市を創りあげていきます。

【終わりに】

我々(社)加須青年会議所は、創始からの精神を大切に、この加須市に必要とされる為に JC にしか出来ない事・JC だからこそ出来る事を考え、常に前向きな変化を止める事無く青年としての英知と勇気と情熱をもって新しい時代を切り拓きます。そして、10 年後の[明るい豊かな社会]の実現に向かって行動していく覚悟です。

「絆」とは、一体何でしょう。人と人との強い結びつきだと考えます。人と人が強く結びつくのは簡単な事ではありません。目的に向かって方向性を同じにし、相手の事を思いやり、相手の思いやりに感謝し真剣に意見を交わし、違いを受け止めながらも行動していく中で生まれてくるものです。

そんな絶つことの出来ない人と人との繋がりを、まずはメンバー間で創りだし、事業を通して子供たち・学校・親・地域・行政の人達へと繋げていけば、他人の事を我が事のように考え共に助け合う事の出来る人が増え、～全ての人が共創しあう絆溢れる明るいみらい～が実現出来ると信じてこれからも走り続けます。

利他の精神をもとに社会
を変革できるリーダー育
成（全ての運動・事業は
研修である）

研修事業
メンバー間の絆

まちづくり事業
市民一人ひとり
との絆

全ての人が共創しあう
絆溢れる明るいみらい

青少年育成事業
青少年育成活動
を通しての絆

自助と共助の調和した地
域コミュニティづくり

学校・親・地域の人達と共
に思いやりと郷土愛を持
った青少年育成

